

経営理念

当金庫は、昭和24年の創立以来、皆様の最も身近な金融機関として「地域経済の健全な発展と豊かな暮らしの実現」を経営理念として、歩んでまいりました。当金庫は、役職員一致協力して経営基盤の強化と健全経営に努め、地域に密着した金融機関として、皆様のお役に立てるよう一層の経営努力を続けてまいります。

経営方針

- ・常に健全経営を堅持して社会的信用を高め、事業の永遠の発展に努めます。
- ・地域社会の繁栄と振興のため、貯蓄の増強と積極的融資に不断の努力を傾注します。
- ・信用金庫事業の特殊性をよく認識して、その特色を十分に発揮します。
- ・職員の生活安定と執務条件の改善整備に努め、役職員の一体感ある人間関係の確立を図ります。
- ・職員の創意を尊重し、人材の登用と資質の向上を図り、志気を発揚して総合的な運営を行います。

経営姿勢

当金庫は、地域の中小零細企業、地域住民の金融の円滑化を図ることがその使命であることを強く自覚し、地域密着の一層の徹底や小口多数取引を重視し、非価格サービスを含めた顧客の幅広いニーズに応える積極かつ堅実な経営を行います。

信用金庫の特性について

[信用金庫と銀行の違い]

株式会社組織である銀行は、金融機関としての公共性が求められる反面、収益性の面では株主の利益が優先されます。一方、協同組織の金融機関である信用金庫は、会員の利益が優先されます。また、信用金庫は、限られた地域の中小企業や個人の方々による協同組織（会員制）の金融機関であると同時に、地域の会員外の方々からも自由にお金を預かることができますので、地域社会全体への貢献が強く求められる、より公共性の強い金融機関であるということです。

[金融機関の不良債権問題に対する考え方]

資産の健全性を高めていくことは、「地域社会の発展に貢献する」という社会的使命を安定的に果たしていくため、欠かすことのできない重要な経営課題のひとつとして認識し、積極的な取り組みを進めています。しかし、信用金庫の融資業務の特徴は、収益性のみを追求した「選別融資」ではなく、会員である地域の中小企業や個人の皆様を対象として、融資の機会の平等を原則に「小口多数取引に徹する」ことにあります。当金庫では、こうした信用金庫ならではの特性を踏まえ、地域中小企業の皆様が抱えている特性に十分配慮しながら融資業務を行い、地域社会の発展に努めています。

コンプライアンス（法令遵守）態勢

金融機関は高い公共性を有しております。当金庫においては、地域金融機関としての社会的使命を自覚するとともに、企業倫理の高揚と法令等の厳格な遵守により社会的責任を果たし地域の負託に応え、経営の健全性と透明性にも配慮し信頼性確保に努めております。

当金庫では、コンプライアンスを経営の重要課題のひとつとして位置付け、コンプライアンス態勢の構築に取り組んでおります。役職員の行動規範として「コンプライアンス・マニュアル」を策定し、また、各種研修により信頼される信用金庫人の育成に努めております。

今後も役職員一人ひとりの倫理観の確立に努めるとともに、組織・制度上の態勢の整備に取り組んでまいります。